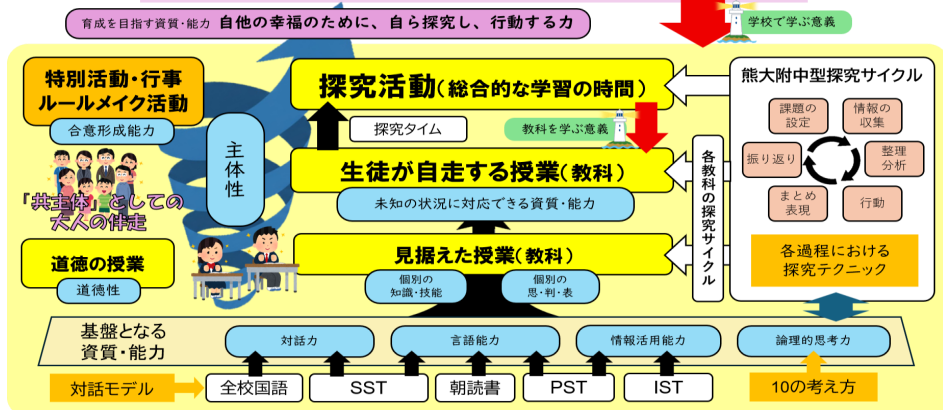


◆ 本校の研究について

本校では、昨年度より「自他の幸福のために、自ら探究し、行動する生徒の育成～総合的な学習の時間を中核とした探究的な学習の充実を通して～」という研究主題のもと、総合的な学習の時間における生徒主体の探究活動を中核とした研究を進めてきました。生徒が自ら探究し、行動していく姿を実現するため、各教科の授業でも、熊大附中型探究サイクルを踏まえた「生徒が自走する授業」を行い、未知の状況に対応できる資質・能力の育成を図っています。研究発表会当日は、各教科や総合的な学習の時間を公開するとともに、生徒主体の特別活動に関する発表も行います。ぜひご参加いただき、忌憚のないご意見をどうぞよろしくお願い申し上げます。

学校教育目標：豊かな人生と社会をつくるために、自ら考え主体的に行動する生徒を育む

研究主題：自他の幸福のために、自ら探究し、行動する生徒の育成



◆ 申し込み方法

下のQRコードを読み込み、Peatix(ピーティックス)上で必要事項を入力してください。参加費についても、Peatix上で振り込みをお願いいたします。(手数料は参加者負担となります。)

参加費 一般：1,500円 学生：無料

申し込みは
こちらから



※チケットの購入は10月1日(木)開始

※いただいた個人情報は、当研究発表会の運営以外には使用いたしません。

※ 申込期間は、10月1日(木)～11月6日(金)です。

※ 当日の資料は、お申し込み時にご入力いただくメールアドレスにリンクを送付いたします。当日の配付はございませんのでご了承ください。

◆ アクセス・駐車場

【電車でのアクセス】JR上熊本駅から徒歩9分(約550m)

【バスでのアクセス】「京町本丁」バス停より徒歩3分(約280m)

※駐車場は校内に準備しておりますが、数に限りがございます。乗り合わせや公共交通機関のご利用等、ご協力をお願いいたします。



◆ お問い合わせ

熊本大学教育学部附属中学校 URL: <https://www.kumamoto-fuchu.ed.jp>

〒860-0081 熊本市中央区京町本丁5-12

TEL: 096-355-0375 FAX: 096-355-0379

担当：赤星 愛(主幹教諭) E-mail: cakahoshi@educ.kumamoto-u.ac.jp

本校HP↓



令和8年度 熊本大学教育学部附属中学校 研究発表会 2次案内

研究主題

自他の幸福のために、 自ら探究し、行動する生徒の育成

～総合的な学習の時間を中核とした探究的な学習の充実を通して～(2年次)



昨年度、大好評をいただいた溝上先生×苫野先生の対談を、今年度も開催いたします！
参加者からは「目から鱗が落ちた」「すぐに自分の実践に繋げたい」と絶賛の声が多数寄せられました。初めての方も、リピーターの方も大歓迎です。皆さまのお越しをお待ちしております。



溝上 慎一 先生
(学校法人桐蔭学園理事長)
(桐蔭横浜大学 教授)



苫野 一徳 先生
(熊本大学准教授)

1.期日：令和8年11月14日(土) 8:30～16:15

2.会場：熊本大学教育学部附属中学校 ※対面のみの開催

主催：熊本大学教育学部附属中学校

後援：熊本県教育委員会

熊本大学教育学部情報教育研究会

熊本大学教育学部附属中学校同窓会

熊本市教育委員会

熊本大学教育学部同窓会

熊本大学教育学部附属中学校教育後援会

当日の日程

8:30	8:50	9:20	9:40	10:25	10:35	11:20	12:30	14:00	14:20	14:40	16:15
受付	基調提案	移動	公開授業(100分)			昼食	分科会・実践発表 (各教科) (健康教育)	移動	生徒発表	対談	閉会

公開授業

国語 授業者：益田 俊男	 単元名(題材名)：私たちは、科学技術とどう向き合うべきか？（『フロン規制の物語ー(杞憂)と(転ばぬ先の杖)のはざままで』）（3年生） 「科学技術との向き合い方に関する論説文を書く」という単元のゴールに向けて、生徒が同いや対話を通して、各自の考えを形成していく学びを目指します。 【助言者】北川雅浩（熊本大学教育学部 准教授）古賀洋一（島根県立大学人間文化学部 准教授） 【協力者】後藤美（山鹿市立山鹿中学校）渡邊奏美（熊本市立出水南中学校）嶋美織（熊本市立武蔵中学校）
社会 授業者：山本 翔	 単元名(題材名)：日本の地域的特色（2年生） 「エネルギーに関する自分たちの提案が熊本を変えるかもしれない」という想いをのせた単元のゴールを設定し、生徒が批判的思考を働かせながら、情報を活用する姿を目指します。 【助言者】藤瀬泰司（熊本大学教育学部 教授） 【協力者】中牟田通（大津市立大津北中学校）光安朝規（熊本市立東部中学校）丸山喬大（八代市立第一中学校）
数学 授業者：猪口志 証調	 単元名(題材名)：図形の性質と証明（2年生） 「身の回りに存在する図形の秘密を解き明かす」という単元のゴールに向けて、図形の特徴を整理・分析しながら、平行四辺形について多角的な見方で説明する姿を目指します。 【助言者】吉村昇（熊本大学教育学部 准教授） 【協力者】河本健二（菊池市立菊池南中学校）古場脩平（熊本市立三和中学校）宗風香（熊本市立白川中学校）
理科 授業者：布田 賢次郎	 単元名(題材名)：光による現象 ～音・光・力を「操る」～（1年生） 「光の性質を活用して、身近な物理現象や科学技術の原理や仕組みを解明する」という単元のゴールに向けて、観察・実験、対話を通して、考えを科学的なものへと更新していく姿を目指します。 【助言者】渡邊重義（熊本大学教育学部 教授） 【協力者】越谷純子（合志市立合志中学校）川田裕貴（熊本市立長嶺中学校）室謙一（熊本市立井芹中学校）
英語 授業者：大野 早紀	 単元名(題材名)：Unit5 What makes a good leader?（3年生） "What is most important to make a movement?"という単元のゴールに向けて、自己調整学習やディスカッションを通して、生徒が自分の考えを再構築していく授業を目指します。 【助言者】島谷浩（熊本大学教育学部 シニア教授） 【協力者】守山万葉（山鹿市立菊池中学校）田上裕登（高島町立高島中学校）石原達也（熊本市立天明中学校）
音楽 授業者：米満 繁	 単元名(題材名)：日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう（1年生） 「『赤とんぼ』のよさ、美しさを聴き手に届ける」という題材のゴールに向けて、生徒が知覚・感受をよりどころとして、自分の思いや意図が表現に表れるように工夫する姿を目指します。 【助言者】山崎浩隆（熊本大学教育学部 教授） 【協力者】上原正士（熊本大学教育学部附属小学校）岩野菜（熊本市立出水南中学校）原翔真（山鹿市立山鹿中学校）
美術 授業者：野口 良美	 単元名(題材名)：未来へ届ける形ー国際棟前に設置するモニュメントを提案しようー（3年生） 「附中と国際クラスをつなぐモニュメントの提案」という題材のゴールに向けて、生徒が表現と鑑賞を往還しながら、自らの表現を見つめ直し、思いや願いによりふさわしい表現へと更新していく学びを目指します。 【助言者】喜久山悟（熊本大学教育学部 教授） 【協力者】古閑健育（熊本市立東町中学校）鮎川紗江（熊本市立江南中学校）野田壮一（熊本市立天明中学校）
技術 授業者：竹財 大輝	 単元名(題材名)：植物ミニ工場の経営を通して、よりよい社会をつくろう！（2年生） 「家庭のニーズに合わせてミニ植物工場経営をしよう」という題材のゴールに向けて、育成環境のデータや経営仲間および生産AIとの対話を通じて、よりよい経営をする姿を目指します。 【助言者】大塚芳生（熊本大学教育学部 教授） 【協力者】菊池豊（山鹿市立米野岳中学校）堀川淳平（熊本市立三和中学校）
保体 授業者：福田 晃平	 単元名(題材名)：ダンス「現代的なリズムのダンス」（1年生） 「よりよい表現をするために、どのような工夫をすればいいだろうか」という単元のゴールに向けて、生徒が仲間と試行錯誤しながら、リズムに乗って、ダンスを構成する様々な要素を工夫し、よりよい表現を目指していく授業を目指します。 【助言者】末永祐介（熊本大学教育学部 准教授） 【協力者】田代洋輝（上天草市立姫戸中学校）竹元政敬（熊本市立清水中学校）東幹太（水俣市立水俣第一中学校）
総合 授業者：赤星 征典	 探究学習の成果発表と私たちのこれから（3年生） 「自他の幸福の実現に向けた探究を通して、自分の生き方を見つめ直す」というゴールに向け、生徒同士や参観者の皆様との対話を通して、探究の価値や意味を捉え直し、自分のこれからの生き方につながる学びを目指します。 【助言者】前田康裕（熊本大学大学院教育学研究科 特任教授） 参加者…本校代表生徒 ※授業に参加した生徒が分科会にも参加し、ディスカッションを行います。

実践発表

健康教育 発表者：松島 理美	研究主題 話せる・頼れる・つながれる生徒の育成 ～モジュール学習における短時間・継続的 SST の実践をとおして～
 自分らしく友だちと関わり、相互に支えあう生徒の育成を目指します。 【助言者】矢野渥子（熊本大学教育学部 教授） 【協力者】泊ヶ山美穂（熊本市立楠中学校）西明日香（熊本市立出水南中学校）工藤明菜（熊本市立鎌倉小学校）	

生徒発表テーマ 私たちが創る、熊大附属中



熊大附属中型意形成ステップに基づいた、生徒主体の学校運営活動（実行委員会・生徒会）について、生徒発表を行います。

対談テーマ

次期学習指導要領改訂を見据えた、熊大附属中の取り組みの意義

溝上慎一 先生
 (学校法人桐蔭学園理事長)
 (桐蔭横浜大学 教授)

✖ 吉野一徳 先生
 (熊本大学准教授)



「好き」を育み、
 「得意」を伸ばす

当事者意識を持って、
 自分の意見を形成し、
 対話と合意ができる



2025年9月、次期学習指導要領改訂に向けた、教育課程特別部会『論点整理』が公表されました。これからの日本の教育は、何を指し、どこへ進んでいくのか。教育界の最先端を走り続けるお二人の対談を通して、熊大附属中の取り組みの現代的意義に迫ります。

※Instagramでも、日頃の教育活動を発信しています！→



※本校では、令和8年度より文科省の「サキドリ研究校」指定を受けており、柔軟な教育課程実施に関わる取り組みの一つとして、教科の特性に応じた「45分授業」または「100分授業」を日ごろから実施しています。今回は、すべての公開授業において「100分授業」を実施します。